



### 山なみ分校の教育目標

#### ◇みんな仲よく

○集団生活への参加・適応と健康生活、社会生活への適応ができる力を育てる。

#### ◇きりつ正しく

○基本的な生活習慣の確立と健康生活を向上させる力を育てる。

#### ◇すすんで働く

○勤労意欲・働く態度の向上と職業生活への参加する力を育てる。

## 新しい年を迎えて

例年になく穏やかな天候で新しい年を迎えることができました。令和2年が始まり、早くも一か月が過ぎましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。山なみ分校は、冬休み中の大きな事故や怪我がなく、無事にまとめの学期である3学期がスタートできました。ご家庭・地域の皆様の配慮があつてのことと感謝申し上げます。

さて、2020年はどのような1年になるのかと考えた時に、やはり、今年には東京オリンピックという大きなイベントが中心になるのではないのでしょうか。4年に1度の世界規模の大会が自国で行われることは非常に意味のあることです。オリンピックに参加したり観戦しなくても、今まで以上に身近に大会の熱を感じることができそうです。また、海外から日本に来る方々も増え、さらにグローバル化の印象が強まるかもしれません。子供たちがオリンピックを通して何かの刺激や感動を受け、新たな目標や価値観を持ってほしいと考えています。

一方で、学校にも大きな変化が予想されます。昨年の学校だよりでも簡単に説明いたしましたが、学校における「働き方改革」が今年も進んでいきます。1月27日の苫小牧民報に、市内の道立高校で勤務時間外は留守番電話で対応している記事が報じられていました。その中で、市内の小中学校においても2022年度中に運用を開始する旨の記事が載せられていました。山なみ分校は2022年度に閉校が予定されていますので留守番電話の設置については不透明な部分が多いですが、何らかの対応が必要になることは予想されます。さらに、2023年度を目指して、一人1台のPC・タブレット等の機器を使える環境を作るという報道もなされています。学校教育においても急速なICT化が予定されており、それに伴って今までの学校生活とは大きく変化していきます。また、今年度より養護学校高等部の入試方法も変更されました。これについても、今まで行ってきた行事を見直す、学習内容を見直すことが必要になっており、大きな改革が必要です。

穏やかに迎えた令和2年ですが、今年1年も多くの活動や変更が控えています。今まで以上に子供たちの力を伸ばせるように取り組んでいきますので、変わらぬご理解・ご協力をお願いいたします。

## 2月の行事予定

3日(月) 豆まき会

4日(火)～5日(水)

5時間授業(年度末反省会議)

A L T来校

6日(木) 修学旅行説明会

7日(金) スケート学習

11日(火) 建国記念の日

12日(火) 合格者発表(支援学校)

13日(木) P T A全体会議

20日(木) 新入生保護者説明会

新入生体験入学

※ 4日(火)は職員会議のため、5時間授業となります。

特にお迎えの方は時間にお気をつけください

今月も毎週水曜日は5時間授業です。

※ 7日(金)はスケート学習です。準備をお願いいたします。

※ 13日(木) 8:45～P T A全体会議となっております。

お忙しい中とは思いますが、出席願います。

## インフルエンザにご注意を

インフルエンザが再度猛威を振るっております。先週から苫小牧市内小中学校数校で学級閉鎖になっています。日頃の予防や体調管理に気を配っていることとお察ししますが、発熱や風邪の症状がある場合、早めの受診をお勧めします。もし万が一お子さんがインフルエンザに罹患してしまった場合、受診医療機関や現在の症状など聞き取りをさせていただきます。お手間を取らせてしまいますが、ご協力をお願いします。

現在、インフルエンザについては学校保健会の方で出席停止期間が定められております。規定としては、発症後5日を経過し、かつ解熱後2日を経ているなければ登校することができません。「熱が下がったから・・・」ではなく、医師の指示等に従っていただきながら登校のご判断をお願いいたします。

## アンケートのご協力ありがとうございました

学校評価アンケートについて、ご協力ありがとうございました。多くのご家庭に提出していただいたことについて感謝申し上げます。この結果を次年度の教育活動の改善に生かしていく所存です。また、2月末に職員からの評価と合わせ、皆様の意見を踏まえた考察をして結果をご報告いたします。

別紙の学校評価考察で詳しく説明させていただいていますが、教職員の指導等についてのご意見をいただきました。教職員の指導について子供たちやご家庭で疑問に思われることがございましたら、これからも遠慮なくお話しください。常に教職員の指導や対応が向上するように学校全体で取り組んでいきます。また、教職員の配置等についても皆様が安心していただけるよう努力するつもりです。しかしながら、教職員の配置については、閉校を3年後に控えており、職員の転勤や生徒数の減少による教職員配置数の変更が予想されます。学校行事については、大幅な見直しが必要な時期に差し掛かってきました。山なみ分校は学校行事が多く、いろいろな経験ができ、子供たちが輝ける場面が多いことです。しかしながら、入試制度の変更によって学習面の重要性も増してきています。山なみ分校の特色を残しつつ学習の内容を深めるために教育活動の見直しが必要になっ

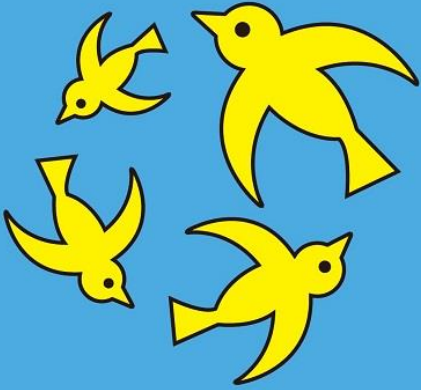
ています。令和2年度から時間割や学校行事の大幅な変更を予定していますのでご理解をお願いいたします。

また、体罰調査のご協力ありがとうございました。重ねてお礼申し上げます。今後も一人一人を大切にする指導を心がけていきますので、ご協力をお願いいたします。

子供の未来を変える皆さまと共有したい  
新しい学習指導要領

# 生きる力

学びの、その先へ



学校で学んだことが、明日、そして将来につながるように、子供の学びが進化します。新しい学習指導要領、スタート。  
小学校：2020年度～ 中学校：2021年度～ 高等学校：2022年度～  
注：附属は、2018年度に新しい学習指導要領がスタート。特別支援学校は、小・中・高等学校学習指導要領に合わせて実施。


文部科学省

学校で学んだことが、子供たちの「生きる力」となって、明日に、そしてその先の人生につながってほしい。

これからの社会が、どんなに変化して予測困難になっても、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。

そして、明るい未来を、共に創っていきたい。

2020年度から始まる新しい「新しい学習指導要領」には、そうした願いが込められています。



「学習指導要領」とは、全国どここの学校でも一定の教育水準が保てるよう、文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。およそ10年に一度、改訂しています。子供たちの教科書や時間割は、これを基に作られています。

これまで大切にされてきた、子供たちに「生きる力」を育む、という目標は、これからも変わることはありません。一方で、社会の変化を見据え、新たな学びへと進化を目指します。

# 生きる力

学びの、その先へ

新しい「学習指導要領」の内容を、多くの方々と共有しながら、子供たちの学びを社会全体で応援していきたいと考えています。

2020年度から新しい学習指導要領の全面実施が始まります。2020年度から小学校、2021年度から中学校、2022年度から高等学校で新しい学習指導要領での学習が正式にスタートします。これに伴って、学習内容や学習方法が変わってきます。特に子供たちの「生きる力」となって人生につながる学習になるように、自分から課題に取り組む、対話や発表などに多く取り組むなどの学習方法へ変化していきます。